

1. 科目名 (単位数)	教育学概論 (初等・小) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE1301 EDTS1101
2. 授業担当教員	高橋 勝		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育(学)の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育(学)の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい教育」のあり方を考える上で求められる基礎的知識の修得を目的とする。具体的には、主に小学校教諭になるための土台となる教育の基本的概念や理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかについて、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。</p>		
8. 学習目標	<p>本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育のさまざまな側面に触れることで、各自のこれまでの教育概念を揺さぶり、それぞれが教育という営みを再考できるようになること。 2. 教育に関する代表的な論考やアプローチから教育の射程の広さを学び、教育理解に関する柔軟さ、そして教育実践における覚悟と責任と寛容さを培えるようになること。 3. ディスカッションや発表を通して、表現力やコミュニケーション能力の向上を図ること。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業前に学習課題をよく読み、学習内容の予習をしておく。授業内容や感想について適宜、簡単なレポートの提出を求める場合がある。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】高橋勝編『教職概論』一藝社、2014。 【参考書】高橋勝他『教育学の基礎』一藝社、2010。 高橋勝『子どもが生きられる空間——生・経験・意味生成』東信堂、2014。 今井康雄編『教育思想史』有斐閣、2009。 田中智志・橋本美保編『教育の理念・歴史』一藝社、2013。</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解し、自分の言葉で説明できる力を身につけたか。(知識・理解) 2. 教育理解に関する柔軟さ、保育・教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。(関心・意欲・態度) 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができたか。ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。(判断力・表現力) <p>以上の観点をふまえ、下記の1～3によって評価する。</p> <p>○評定の方法</p> <p>【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への取り組み姿勢 (ディスカッションやグループワークへの積極的参加度) 総合点の30% 2. 授業内での課題提出 (小テスト・中間レポート等) 総合点の40% 3. 期末課題 総合点の30% 		
12. 受講生への メッセージ	<p>一方通行の授業ではなく、受講生自身も発表する機会があるので積極的な参加を望む。この講義を通して教育学の基礎を学ぶと同時に、教育への興味・関心を高め、自分なりの教育観を持つことができるようになってほしい。</p>		
13. オフィスアワー	<p>初回講義で告知する。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス	事前学習	これまで受けてきた「教育」の意味を考える。教科書を概観する。
		事後学習	教育学に関係のある教育分野について調べ、ワークシートにまとめる。
第2回	人間形成 (人間性と人格の概念) と教育	事前学習	人間性と人格とは何かについて調べ、そのイメージをまとめておく
		事後学習	人間形成と教育について、考えたことや疑問をワークシートにまとめる。
第3回	社会化作用 (家庭、地域という集団) と教育	事前学習	家庭、地域などの集団の有する社会化作用について、調べておく。
		事後学習	社会化作用によって無意識に内面化される言語、習慣、価値観などが、人間を定型化する事例を調べて書く。
第4回	子どもの発達と教育	事前学習	子どもの成長、発達、自立、関係発達などの概念について調べる。
		事後学習	多様な人間関係のなかで、子どもが発達するという事例を、いくつか挙げてみる。
第5回	西洋教育思想の展開 (1) —古代ギリシア (教養が人間性を育む——ソクラテス、プラトン)	事前学習	古代ギリシアのリベラル・アーツと自由教育の理念について調べる。
		事後学習	古代ギリシアにおける教養と人間性とは何かを調べて、小レポートにまとめる。
第6回	西洋教育思想の展開 (2) —近代 (「子どもの発見」と新しい教育意識——J. J. ルソー)	事前学習	J. J. ルソーの子ども観と教育観は、それ以前のものとどこが異なるのかを調べる。
		事後学習	「子どもの発見」とは何か。「新しい教育意識」とは何かを調べて、自分の考えをまとめる。
第7回	西洋教育思想の展開 (3) —現代 (進歩する社会と子どもの発達——J. デューイ)	事前学習	J. デューイの子ども、学校、社会に関する考え方を調べておく。

		事後学習	J. デューイの実験学校で行われた進歩主義的教育の内容を説明する。
第 8 回	日本の教育思想の展開 (1) —近代 (知性が人生を開く——福沢諭吉)	事前学習	福沢諭吉の『学問のすすめ』初編 (第 1 編) を読み、彼の教育観を調べておく。
		事後学習	福沢諭吉の「独立自尊」というコトバの意味を調べ、小レポートに書く。
第 9 回	日本の教育思想の展開 (2) —現代 1 (教育の民主化——アメリカ教育使節団報告書)	事前学習	第二次大戦直後に発表されたアメリカ教育使節団報告書 (第一次、第二次) の概要を調べる。
		事後学習	アメリカ教育使節団報告書が、日本の戦後教育の再建に果たした役割をまとめる。
第 10 回	日本の教育思想の展開 (3) —現代 2 (教育の国際化・個性化——臨時教育審議会最終答申)	事前学習	臨時教育審議会最終答申 (1987 年) の主な政策提言を調べる。
		事後学習	教育の国際化、個性化、生涯学習という基本理念について、現在の時点からどう考えるか、意見をまとめる。
第 11 回	子どもの探究活動と授業展開	事前学習	子どもの思考力、判断力、表現力と学びに向かう態度をどう育てるのかについて、調べる。
		事後学習	問題解決学習の考え方や授業展開について、意見交換をする。
第 12 回	いじめ・不登校と子どもの対人関係	事前学習	いじめや不登校のさまざまな原因と対応策について、調べる。
		事後学習	学校が、学びと教育の場所であると同時に、子どもの居場所になるという学校観について、意見をまとめる。
第 13 回	生涯学習の基礎を学ぶ学校	事前学習	学校は単に知識・技能を修得するだけでなく、子どもの生涯学習の基礎を学ぶ場所であることの理由を記す。
		事後学習	ホモ・ディスケンス (homo・discens、自ら学ぶヒト) とは何か。その意味を調べる。
第 14 回	生涯学習と多世代型コミュニティづくり	事前学習	大人は、なぜ学ぶ必要があるのか。地元の社会教育施設の現状を調べる。
		事後学習	生涯学習は、子どもから高齢者に至る多世代の出会いと地域コミュニティづくりにつながる理由を述べる。
第 15 回	まとめ	事前学習	教科書、配布資料を読みなおし、これまでの 14 回の授業内容を振り返る。
		事後学習	授業内容を踏まえたうえで、理解が不足していた点を再度学習する。